

A類理科コース 男子中長距離ブロック 1年 伊藤達哉



○入試方法は？

学校推薦型選抜です。進路の選択肢を広げるために推薦にも出願しました。

結果的に同時期に受験していた全統共通テストプレ模試の対策が推薦入試の問題と重なり、活かすことができましたと感じています。試験対策を推薦専用に分けて考えるのではなく一般入試に向けた学習の延長として取り組むことで、受験のチャンスを広げられると思います。

○受験エピソードを教えてください

合格発表は現地にも来たのですが、声をかけてくださる学生の温かさに触れ、素敵な大学だなと感じたことを覚えています。浪人期間も含め不安の多い受験でしたが、その分人の温かさや支えてくださる方々の存在を強く感じられる受験でした。本当に感謝しています。

○どうして東京学芸大学に？どうして陸上競技部に？

高校時代からお世話になっている先生の母校であり、話を聞いていく中で興味を持ったことが最初のきっかけです。学芸大競技会やオープンキャンパスに参加したり、先輩方と関わる中で自分の性格や大切にしたい雰囲気合っていると感じ、ここで学びたいという思いが次第に強くなりました。

また高校生の頃、関東インカレの観戦に行った際に、東京学芸大学の選手や応援・サポートをしている先輩方の姿に心を奪われ、自分もこのチームで陸上を続けたいと強く思ったことが大きな理由です。

○オフの日は何してる？

実験のレポートや実験ノートの課題、講義の復習に充てたり、友達とご飯に行くことが多いです。自転車通学なので、たまに違う道から帰ってみたりと通学路を散策するのも楽しみの一つです！

○1日のスケジュールを教えてください！

→平日（実験のある日）

6：30 起床、朝食

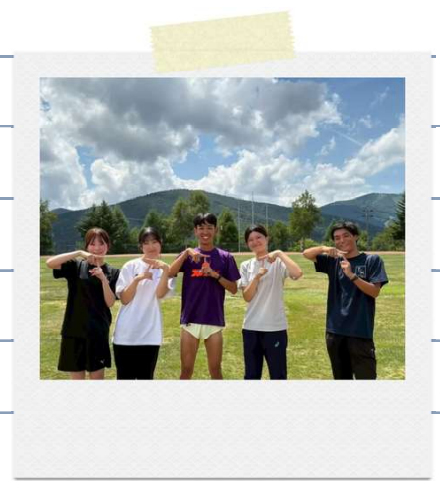
8：30 授業、練習

12：00 昼食

12：50 実験

18：10 帰宅、夕食、課題

23：30 ストレッチ、補強、就寝



→土日

9：00～12：00 練習（夏季は7時頃から）

午後は基本ゆっくり

○1週間のスケジュールを教えてください！

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
(練習)	練習	全体集合	実験	練習	全体集合	練習

○文武両道は大変ですか？

突き詰めるほど大変になると思います。大変な時こそ手を抜かず、一つ一つ丁寧かつ全力で取り組むことで「充実」という捉え方ができると思います。実験は早く終わる日もあれば、夜遅くなってしまうこともあり、思うように練習できない日もあります。そうした状況も踏まえて、練習計画を工夫することに最初は苦労しましたが、その都度調整しながら続けることを意識しています。

○東京学芸大学陸上競技部の魅力はズバリ！

競技力に関わらず、互いに謙虚に考え合い、ブロックを超えて支え合いながら、専門性を活かして高めあえる仲間がいるところです。また競技面以外でもそれぞれが大切にしている考えや軸を持っている点が魅力だと思います！あと学大の応援が大好きです。



○最後に一言！

高校生の頃、進路に悩んでいた自分に今伝えるなら、自分と目標とを比較して、その時点の自分に何が必要かを冷静に分析し、積み重ねていくことが、実力だけでなく揺るがない自信に繋がると伝えたいです。そして何より、最後まで自分を信じ、自分を裏切らずに取り組むことが大切だと痛感しました。

競歩ブロックとして、日曜日には高校生や他大学の選手、実業団の選手が合同で練習しています！また、競歩審判員の資格をお持ちのコーチの方々に歩型を確認していただきながら、競歩に取り組む選手同士で意見交換をするなど非常に有意義な時間を過ごしています。

是非一度、練習会へ！お気軽に陸上競技部へご連絡ください！

